

第13回東北MIS研究会・第3回看護師のための脊椎MISセミナー開催報告

2019年(令和元年)7月6日(土) TKP ガーデンシティ仙台 AER 30Fにて第13回東北MIS研究会および第3回看護師のための脊椎MISセミナーを開催させて頂きました。悪天候にもかかわらず、多数の医師、コメディカルスタッフの皆様にご参加頂き、無事盛会のもとに終了いたしましたことを御報告させて頂きます。

一般演題は計9題でしたが薬物療法、外傷から手術法の工夫まで多岐にわたった演題であり年々演題のレベルが上がってきているように感じられました。また活発な質疑応答で時間が足りなくなるほど大変盛り上がりました。特別講演として獨協医科大学埼玉医療センター整形外科准教授 飯田尚裕先生より「成人脊柱変形治療における脊柱アライメントと骨粗鬆症治療の重要性」について御講演いただきました。脊柱変形の自然経過や手術後の長期経過について、下位腰椎での前弯形成の重要性、骨盤を含めた広範囲固定の利点と欠点等について豊富な臨床経験に基づいたお話を大変分かりやすく脊柱変形の根本について御講演いただきました。参加者は変形矯正の重要性とMISの現時点での役割や限界について拝聴でき、大変貴重な機会を頂きました。

本会のBest presentation 賞は岩手医科大学 和田俊太郎先生の「重度脊椎側弯症に対するposterior temporary internal distraction 法を用いた2期的矯正固定術の治療経験」が受賞されました。OLIF 開創器を用いた低侵襲前方解離と後方伸延術を併用したMIS手技を重度側弯症に対して応用し、良好な手術成績を獲得しており、アワードにふさわしい内容でした。またBest discussor 賞は東北大学の菅野晴夫先生が受賞されました。

また看護師のための脊椎MISセミナーでは各施設の手術における工夫の発表があり、質疑応答が大変盛り上がりしていました。こちらも第3回と会を重ねるたびにレベルが上がっていることを実感しました。また模擬骨やブタ脊椎を使用したハンズオンも行われましたが、今回初めての試みとして手術における器械出し看護師をVR技術を使って仮想体験するハンズオンも行われました。参加者はVRゴーグルを装着し高精細なVR手術画像を使用して器械出しの仮想体験を行い、通常の説明では得られない臨場感を得ることができ、大変貴重な経験ができたものと思います。

今回、御参加頂きました先生方、コメディカルスタッフの皆様、共催頂きました旭化成ファーマおよび器械展示やハンズオンに御協力頂きました企業の皆様のおかげで成功裏に会を開催できましたことを深謝申し上げます。

次回の第14回東北 MIST 研究会は2020年7月4日(土)東北大学の菅野晴夫先生のもと仙台において開催される予定です。第4回看護師のための脊椎 MIS セミナーも合同開催の予定です。全国の皆様にもご参加頂きますよう、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

第13回東北 MIST 研究会

当番世話人

岩手医科大学 整形外科

遠藤 寛興

